



常陸太田市

議会だより

No. 148
平成29年5月25日

HITACHIOTA

発行 常陸太田市議会
常陸太田市金井町3690番地

●責任者 議長 益子 慎哉
●電話 0294(72)3111(代)

●編集 広報委員会
FAX 0294(73)1119



※写真は、第7回 OSJ 奥久慈トレイルレースの様子

奥久慈を舞台とする「OSJ 奥久慈トレイルレース」が5月28日に開催されます。30K（約30km）の部では、毎年約300人の参加者が竜神大吊橋をスタートし、ゴールの太子町袋田温泉間を走破します。

■平成29年 第1回臨時会・第2回定例会 開催■

主 な 内 容

平成29年度施政方針	2～3	議会トピックス	11
議案賛否一覧	4～5	常任委員会審査・活動報告	12～14
予算特別委員会	6	議会日誌・議会運営委員会・意見書・	
議案質疑	7	請願・陳情・議員提案	15
一般質問	8～11	編集後記	16

市議会ホームページ：<http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/page000564.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/hitachiota.shigikai>

市議会
ホームページ



市議会
フェイスブック





益子 慎哉 議長

議長あいさつ

平成29年度の「常陸太田市議会だより」の発行にあたり議会を代表してごあいさつを申し上げます。市民の皆さまには、日頃から市議会に対する深いご理解と市政に対するご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

2月の臨時会は2月21日に行い、機初小学校大規模改修建築工事請負契約について審議し、また、3月定例会では、3月2日から17日までの会期で金砂中学校屋内運動場整備や認定こども園整備、防災用発電装置を含む本庁舎改修工事などを盛り込んだ平成29年度各会計予算や議員提出議案など計34件に

ついて審議を行いました。

一般質問では7名の議員が質問に立ち、福祉、教育、交通など多岐にわたる議論がされました。

私も議会といたしましては、二元代表制の一翼を担う議決機関として、議会基本条例を遵守し、議会改革をさらに進めていくとともに、市民の皆様への負託に応え、より信頼される議会となるため鋭意努力してまいります。

結びに、市民の皆様方の益々のご健勝を心からお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

第1回臨時会・第2回定例会

■提案理由説明（要旨）

第1回臨時会の提出議案は、昨年12月の第4回定例会で補正予算を議決した機初小学校大規模改修建築工事請負契約の1件。機初小学校の外壁塗装や屋上防水工事のほか、床面の張り替え工事等の内装工事や和式トイレを洋式トイレへの改修工事で工事請負契約額は1億9332万円であります。

第2回定例会の提出議案は、条例の制定1件、条例の一部改正9件、公の施設に係る指定管理者の指定2件、市道路線の認定1件、平成28年度補正予算7件、平成29年度当初予算10件であります。一般会計については、金砂郷中学校屋内運動場整備や認定こども園整備等

を含め対前年比15%増の229億8200万円。7つの特別会計、水道事業会計及び工業用水道会計を合わせると、前年度比で24%増の404億8959万6千円とするものです。

なお、人事案件3件を追加する予定です。



施政方針を説明する
大久保太一市長

■市政運営の基本方針

平成29年度は、昨年12月定例会で議決した第6次総合計画のスタートの年。少子化・人口減少対策アクションプラン並びにまち・ひと・しごと創生総合戦略が3年目となる大変重要な年です。第6次総合計画では、当市が目指す将来像を「幸せを感じ、暮らし続けたいと思うまち常陸太田」として、将来を見据え、地域の実情に合った市民生活に直結する各種施策をより効果的、効果的に進め、安定した雇用を創出し、当市への新しい人の流れを作るとともに、健康寿命の延伸等と若い世代の結婚、出産、子育ての希望を叶える環境を実現し、持続可能で自立したまちづくりを目指していきます。



平成29年 第2回定例会

平成29年度予算
404億8,959万6千円



■平成29年度予算の概要

一般会計について、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを進めるため、特に少子化・人口減少対策アクションプランに位置づけられた各種施策に対し予算を配分。予算の規模は、対前年比1.5%増の229億8,200万円で特別会計、水道事業会計及び工業用水道会計を合わせると前年度比2.4%増の404億8,959万6千円となります。

— 平成29年度の一般会計主要事業 —

第6次総合計画基本計画の主な基本目標の事業を紹介します。

安心して働くことができる仕事の場づくり

基本目標1

- 東部地区開発促進事業
本庁舎北側国道349号バイパス沿道沿いの商業業務系の市街化を図る …… 9,017万1千円
- コンパクトなまちづくり推進事業
コンパクトなまちづくりによる市街地活性化と持続可能なまちづくりを推進する計画書策定 …… 700万円
- クリエイティブ企業等進出支援事業
クリエイティブ企業等の進出を促進するため、空き家等を活用したシェアオフィス等の整備に要する経費（増改築費等）に対する支援 …… 500万円

夢を育み健やかに安らかに生きる人づくり

基本目標2

- 認定こども園整備事業
のぞみ幼稚園を認定こども園へ移行及びすいふ保育園と水府幼稚園を統合した認定こども園を整備 …… 1億2,038万1千円
- 小規模保育事業開設支援事業
0歳から2歳保育の拡充を図るため、民間業者による小規模保育事業の開設支援 …… 1,350万円
- 児童発達相談事業
児童の発達障害に関する相談・支援等の窓口を開設 …… 282万5千円

暮らしやすく楽しむことができるまちづくり

基本目標3

- 地域公共交通再編実施事業
昨年の10月に市内公共交通網を再編し、更なる利用促進に向けた取り組みを実施 …… 1,471万6千円
- 公共施設等再編事業
将来のまちづくりに必要なサービスを確保しながら、公共施設等の再編計画を策定 …… 729万円
- 道整備交付金事業
高柿千寿線、大森山根線の改良舗装工事や亀作西真弓線、田渡白羽幹線の補償調査等 …… 2億3,600万円

第1回臨時会・第2回定例会

議案賛否一覧

△第1回臨時会で全員賛成で可決した議案▽

議 案 名		付託委員会	議決結果
議案第1号	常陸太田市立機初小学校大規模改修建築工事請負契約について	本 会 議	原案可決

△第2回定例会で全員賛成で可決した議案▽

議 案 名		付託委員会	議決結果
議案第2号	常陸太田市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について	総 務	原案可決
議案第3号	常陸太田市表彰条例の一部改正について	総 務	原案可決
議案第4号	常陸太田市行政組織条例の一部改正について	総 務	原案可決
議案第5号	常陸太田市個人情報保護条例の一部改正について	総 務	原案可決
議案第6号	常陸太田市市税条例等の一部改正について	総 務	原案可決
議案第7号	常陸太田市東日本大震災被害対策支援金等支給条例の一部改正について	総 務	原案可決
議案第8号	常陸太田市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	産 建	原案可決
議案第9号	常陸太田市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	産 建	原案可決
議案第10号	常陸太田市消防団の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総 務	原案可決

議案第11号	常陸太田市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	文 民	原案可決
議案第12号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文 民	原案可決
議案第13号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	産 建	原案可決
議案第14号	常陸太田市道路線の認定について	産 建	原案可決
議案第15号	平成28年度常陸太田市一般会計補正予算（第6号）について	総 務	原案可決
議案第16号	平成28年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	文 民	原案可決
議案第17号	平成28年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	文 民	原案可決
議案第18号	平成28年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	産 建	原案可決
議案第19号	平成28年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）について	産 建	原案可決
議案第20号	平成28年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算（第1号）について	産 建	原案可決
議案第21号	平成28年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について	産 建	原案可決
議案第26号	平成29年度常陸太田市下水道事業特別会計予算について	予算特別	原案可決

△第2回定例会で賛否の分かれた議案▽

議案第27号	平成29年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計予算について	予算特別	原案可決
議案第28号	平成29年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計予算について	予算特別	原案可決
議案第29号	平成29年度常陸太田市簡易水道事業特別会計予算について	予算特別	原案可決
議案第30号	平成29年度常陸太田市水道事業会計予算について	予算特別	原案可決
議案第32号	常陸太田市教育委員会教育長の任命について	本会議	原案同意

議案第33号	常陸太田市教育委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第34号	人権擁護委員候補者の推薦につき同意を求めることについて	本会議	原案同意
議員提案第1号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	本会議	原案可決
常陸太田市選挙管理委員及び補充員の選挙について			原案可決
所管事務調査及び閉会中の継続調査について			原案可決

議 案 名		付託 委員会	審 査 結 果																議決結果			
議案第22号	平成29年度常陸太田市一般会計予算について	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	平成29年度常陸太田市国民健康保険特別会計予算について	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	平成29年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計予算について	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	平成29年度常陸太田市介護保険特別会計予算について	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	平成29年度常陸太田市工業用水道事業会計予算について	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年 請願第5号	「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める 請願（注↑）	文 民	不採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
【○…賛成 ×…反対 欠…欠席】																						
※議長の表決権…過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することが出来る採決権が認められています。 （注↑）平成28年請願第5号は、委員会において「不採択とすべきもの」と決定し、本会議において委員会の審査のとおり「不採択とすべきものと決定すること」について採択されたため、請願に賛成する議員の賛否は×と表記されます。																						

【○…賛成 ×…反対 欠…欠席】

※議長を表決権…過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決が否決が決定することが出来る採決権が認められています。
（注1）平成28年請願第5号は、委員会において「不採択とすべきもの」と決定し、本会議において委員会の審査のとおり「不採択とすべきもの」と決定することについて採択されたため、請願に賛成する議員の賛否は×と表記されます。

予算特別委員会を開催

— 平成29年度一般会計・特別会計7件
企業会計2件を審査 —

予算に関する議案第22号から議案第31号までを審査するため、予算特別委員会が3月8日に設置されました。

議長を除く16名の議員が委員に選任され、3月14日と15日の2日間にわたり審査が行われ、一般会計の総額229億8,200万円、特別会計の総額154億7,787万8千円、企業会計の総額20億2,971万8千円、合計404億8,959万6千円について審査いたしました。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、工業用水道事業会計については賛成多数により原案可決すべきものと決定。その他5会計については、全会一致により原案可決すべきものと決定しました。



予算特別委員会 委員長 高星 勝幸
副委員長 福地 正文

— 主な質疑内容 —

問 地域子ども活動促進事業の補助対象について

答 対象団体は子ども会や町会等で、事業対象は環境学習活動や地域清掃活動等としている。補助金の額については、年3回以上活動を行った場合に、年額で5万円を補助するものである。



地域清掃活動

問 子育て安心のための夜間診療業務委託料について

答 市民からこども夜間診療があることで、大変安心であるという声を聞いている。また、医師会と協議を行い、診療日数を週3日から4日に増やし、平成29年度からは新たに1医療機関が加わる予定である。



問 有害鳥獣捕獲実施委託料の増額理由について

答 従来はくくり罠^{わな}を中心に捕獲を実施してきたが、今後については通年捕獲が可能となる、はこ罠^{たきやう}の設置を推進していくため、設置基数を増やすものである。

問 奥久慈グリーンライン林道の整備状況について

答 奥久慈グリーンライン林道の武生^{たきやう}線の全体計画延長は10,480mで、平成28年度の整備延長は8,488.9mとなり、進捗率は81%となっている。現在、平成31年度完了を目標に工事を進めている。



整備が進む奥久慈グリーンライン

議 案 質 疑

(第1回臨時会)

問 議案第1号 常陸太田市立機初小学校大規模改修建築工事請負契約について入札参加資格要件と落札率99・58%の結果について伺いたい。

答 総務部長 入札参加資格要件については、2社による共同企業体で4つの要件を設けている。1点目は、市内または隣接、隣々接市町村に本店があること。2点目は、市内業者または建設格付がAランクであること。また、市外業者は名簿に掲載された建築の総合評定値のP点(経営規模・技術力等の点数)が900点以上であること。3点目は、特定建設業の許可があり一級建築士または一級建築施工管理技士を専任で配置されていること。4点目は、過去10年以内に同種工事の経験があることを条件にしている。

また、落札率の結果としては、近年の状況として、建設工事現場で作業員や技術者の不足、人件費の上昇、さらには、材料不足などにより資材費も高騰しているためと考えている。近隣市町村の建築工事の入札についても、高い落札率となっているものや入札不調となったものが見受けられていることから、これらの影響を受けての入札結果ではないかと考えている。



機初小学校大規模改修工事

議 案 質 疑

(第2回定例会)

問 議案第2号 常陸太田市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について職員の派遣期間・派遣先について伺いたい。

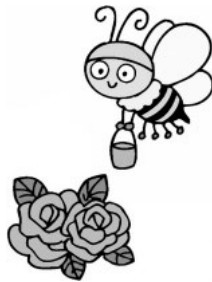
答 総務部長 市職員の派遣期間については、法律に規定され原則として3年を超えることができないが、任命権者が特に必要と認める団体及び職員の同意が得られれば5年まで延長できる。

派遣先については、市シルバー人材センター、市観光物産協会、里美ふるさと振興公社の3つの団体。派遣職員数は、法律及び条例上、複数職員の派遣も可能であるが、それぞれの派遣理由や状況に応じて決定していきたい。

問 議案第15号 平成28年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号)の保健衛生使用料が補正増となっているが、その理由と瑞竜霊園の区画がどのくらい残っているのか伺いたい。

答 市民生活部長 昨年の霊園の販売区画数の内訳については、現段階では、瑞竜霊園では32区画、町屋霊園で1区画、里美地区の大中第二霊園で1区画、合計して34区画の使用が決定し1543万8千円の収入済みであることから、今回1080万8千円の補正増とした。

また、瑞竜霊園については、3月現在では10㎡の1区画のみが残っている。今後、区画整備については状況をしながら検討していく。



一 般 質 問

問 議案第22号 平成29年度常陸太田市一般会計予算の小学校普通教室扇風機設置事業では教室にどのように整備され、工事はどのように進めていくのか伺いたい。

答 教育次長 扇風機を設置予定の学校は、小学校で既に扇風機を設置している里美小と平成30年に統合を予定している水府小、山田小を除く10校に。中学校では、校舎改築を予定している水府中を除く6校に設置を予定している。

設置場所については、普通教室全教室を対象に、1教室について4台の天井設置型の扇風機を設置するものである。費用については、扇風機1台が2万5千円程度のを400台、中学校には248台予定している。

また、工事時期については、平成29年度から有効に活用できるように、できるだけ早い時期に工事を発注し、小中学校の夏休みまでには完了していきたい。

平成29年第2回市議会定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、7名の議員が登壇しました。(次ページから掲載)

※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。発言の詳細は、議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。



藤田 謙二
議員

問1

インターネットの普及に加えスマートフォンの利用者が増大するなど、通信販売が消費者の生活に欠かせない買い物手段となってきた中、特産品等のネット販売体制について伺いたい。

答1

農政部長 国の地方創生先行型交付金を活用し、市観光物産協会への委託により民間大手通販サイトに「逸品ひたちおた」を開設したが、全国一律

問2

WEBサイト開設によるネット販売体制は常陸太田地区の高校との更なる連携促進を

問2

人口減に悩む地方では公立高の廃校が地域消滅の引き金になりかねないと、都道府県任せにしてきた従来の姿勢から一転し、我がまちの問題として捉え、主体的に魅力向上に取り組みようになっているが、本市の連携状況について伺いたい。

答2

教育長 太田二高と佐竹高が統合される新校では、本市の資源である歴史と文化等を体験的に学習したり、観光ビジネ

ス、保育や福祉などの科目を設定予定と伺っており、これまで県及び高校に対して本市の実態やニーズに応じた特色ある教育内容を要望してきた結果と捉えている。さらに平成29年度には市長、副市長、教育長が新校設置推進協議会の構成員として、特色ある取組や校名候補案など意見交換の場が持たれる予定で、その席上、ニーズに合わせた授業や進路指導の充実、魅力ある部活動のあり方等、意見を述べてまいりたい。



一則 議員
諏訪

問1

「同行援護」及び「移動支援」の事業において、それぞれのサービス対象者の基準及び支援の内容について伺いたい。

答1

保健福祉部長 「同行援護」の対象者は、視覚障害により、ご自身で外出する際の移動などが著しく困難である方である。支援内容は、障がいのある方が行政機関等にかかわる手続きなど、社会生活上必要不可欠な外

問1

視覚障がい者の外出を保障するサービス「同行援護」は

出や、余暇活動等の社会参加のための外出に際し、支援従事者が同行し、移動時に必要な情報の提供や援護に加え、外出先において代筆や代読などの支援を行うものである。

なお、同行援護を利用する際には、障害福祉サービス利用計画の作成と、本人へのアセスメント(国が定める一定以上の障害程度の確認)を行い、身体介護が必要と判断された場合は、障害支援区分の

認定が必要となる。利用者の自己負担は、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯に属する方を除き、原則1割負担であるが、利用者本人とその配偶者(利用者が18歳未満の場合は、その保護者の属する世帯)の課税状況に応じて、月ごとの負担上限額が設定されることになる。

「移動支援」については、市が行う地域生活支援事業のサービスで、障がいのある方並びに自立支

援医療(精神通院)の受給者証を持つ方が利用できる。支援内容は社会生活上必要不可欠な外出や、余暇活動等の社会参加のための外出時において、交通機関の利用補助等、移動に伴う支援を行うものである。

「同行援護」に含まれている「外出先での代筆」や「代読の情報提供」は、「移動支援」には含まれない。利用者の自己負担は、生活保護受給者を除き原則1割負担になる。

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- 視覚障がい者の外出を保障するサービス「同行援護」について

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- 地域産業の振興について
- 教育環境の向上について
- 地域のにぎわいづくりにについて



菊池 伸也
議員

問1

患者輸送バス（みどり号）を利用していただいていた高齢者の方から公共交通の再編後、目的施設のバス停が遠くなったと聞いている。このような場合の対応を伺いたい。

答1

政策企画部長 今回の再編は、さまざまな交通モードが存在した当市全域において路線バスに統一し、公共交通の再編を行った全国初の取り組みである。利用者の利便性向上を念頭に運行コースや運行時間等を決定し、利用

問2

移動手段が公共交通のみの高齢者の声は公共交通体系のドア・ツー・ドアサービスは

問2

本市において、ドア・ツー・ドアサービスとして「乗合タクシー」が週1回ないし2回、1回300円で運行されているが、「公共交通空白地」とされている里美地区でのサービスについて伺いたい。

答2

政策企画部長 「乗合タクシー」は、市とタクシー事業者が協定し運行しているが、採算性等の問題からタクシー事業者の運行が難しい地域では、タク

シー運行に係る「公共交通空白地」として自家用自動車で行う有償運送が認められており、里美地区では合併前から運行されている。なお、本市においては、市内における「公共交通空白地」の解消に努めており、現在、国や事業者との調整において公共交通空白地と認められた水府地区の北部地域（高倉地区）において「公共交通空白地有償運送」の実施について地域住民の方々と準備を進めている。



平山 晶邦
議員

問1

本市が作成した「人口ビジョン」では、40年後の常陸太田市の人口は1万8240人になると推計している。水府地区は770人、里美地区は830人、金砂郷地区は3240人、常陸太田地区は1万3400人である。人口ビジョンでは、人口の現状から将来人口の推計を行い、人口や財政推計から人口変化が地域の将来に与える影響を分析して「現状の課題整理」と「常陸太

問1

常陸太田市公共施設等総合管理計画（案）について

答1

政策企画部長 計画の目標として、市内の公共施設を維持管理していくために不足が見込まれる財源約500億円の削減を掲げている。この目標達成のため、公共施設再配置の基本的方針を制定することとしており、既存のまちづくり関連計画内容を踏まえながら、公共施設再配置に係る候補地を抽出し、抽出結果に公民連携等を含めた市民へのサービス方法を整理し、今後全庁で共有

する公共施設再配置の基本方針として取りまとめることとしている。市民への周知方法については、各地区において当計画に係る説明会等を開催し、公共施設の現状や今後の方向性等が市民に的確に伝わるよう地区別の立地状況、各地の人口動向を踏まえた今後の公共施設配置の考え方を示すこととしている。併せて市の広報等も積極的に活用して市民への周知を図っていく。

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 常陸太田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 常陸太田市公共施設等総合管理計画（案）について

【菊池 伸也 議員 質問事項】

- 公共交通について



深谷 秀峰
議員

問1

市有林の現況と森林湖沼環境税を活用した取組状況、また、今後の総合的な維持管理について伺いたい。

答1

総務部長 市有林は平成28年度末で、357ha、立木の推定蓄積量は7万559m³で、今年度の立木売払い収入は121万5000円の歳入を見込んでいます。また、森林湖沼環境税を活用した事業として、県内初め

問2

市有林のより良い管理運営方法は林道を活用した新たなハイキングコースを

問2

ハイキングを目的とした入込客は年々増加しているが、主なハイキングコースはどのようなものがあるのか、また林道を利用した新たなコース設定についての問題点について伺いたい。

答2

商工観光部長 代表的なものとして、高鈴山、国見山、竜神峡・男体山、鍋足山ハイキングコースがある。また、エ

コミュニティ活動の一環として、真弓町、春友町、久米町、棚谷町、上高倉町持方地区でハイキングコースが提案され、散策マップや案内板を地域の方々が整備し活性化につなげている。しかし、ハイカーの事故やごみ問題等の発生により、国からは国有林を使用する場合は、借用申請の手続きを指導されており、用地測量や維持管理の面で多くの費用が掛かることが予想される。



深谷 渉
議員

問1

公文書は市民の共有財産であり、過去を知る重要な手掛りとなる。公文書を永く後世に伝え、市民の閲覧・調査・研究に広く利用できるよう、適切な保存と公開が求められる。現在の公文書の管理状況と廃校を活用した公文書館の設置について伺いたい。

答1

総務部長 文書取扱規定に基づき、整理・保管・廃棄等を統一して簿冊管理で行っ

問2

廃校を活用した公文書館の設置を求める移動式を含めた「赤ちゃんの駅」の展開は

問2

外出時でも授乳やおむつの交換ができる場を提供する「赤ちゃんの駅」の導入が各地で進み、地域により取組み姿勢の違いが出ている。移動式を含めた「赤ちゃんの駅」の展開について伺いたい。

答2

保健福祉部長 公共施設、民間施設ともに、子育て

にやさしい施設づくりが一定程度推進されてきていることから今後は「赤ちゃんの駅」の名称の使用や登録・表示の統一など、分かりやすい表記・周知方法を子育て世代の意見を伺い検討し、普及・推進を図っていく。
また、子育て世代が気軽にイベント等に外出できるよう、イベント主催者や団体等の意見を伺い、貸し出しテナントの導入を検討する。

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 公共施設について
- 公文書館について
- 子育て支援について
- 学校用品リサイクル市について

【深谷 秀峰 議員 質問事項】

- 施政方針について
- 市有財産の管理と活用について
- 観光資源の開発について

議会トピックス

議会改革推進会議を設置

常陸太田市議会では、議会改革に関する調査研究並びに議長又は議会運営委員会から諮問された事項に関する調査審議を行うため、10人の委員で構成する「議会改革推進会議」を2月14日に設置しました。

今後更なる市民に分かりやすい開かれた議会運営を目指し、検討を行います。



委員長	深谷 秀峰	委員長	高星 勝幸
副委員長	深谷 渉	委員長	菊池 伸也
委員	高木 将	委員	平山 晶邦
委員	後藤 守	委員	木村 郁郎
委員	茅根 猛	委員	藤田 謙二

定例会に路線バスで登庁

常陸太田市議会では、3月8日の本会議を路線バスを利用して登庁しました。これは、昨年の10月に県内で初めて公共交通再編を受けて、実際に路線バスを利用し、利便性や課題を体感したうえで市民の利用促進につなげようと企画されたものです。

今後も市民の皆さんに路線バスの利用促進やサービス向上につなげられるよう努めてまいります。



路線バスで登庁



登庁の様子は新聞にも掲載



宇野 隆子
議員

問2 問1

東海第二原発の再稼働はストップを
就学援助制度の入学準備金は入学前支給を

問1

東海第二原発は来年11月で40年になる老朽原発である。周辺6自治体の首長でつくる原子力所在地域首長懇談会は2014年に「今後に係る判断を求める時の前までに協定を見直す」とする覚書を日本原電（株）と交わしている。原電は東海第二原発の運転期間の延長申請をする今年11月までに、協定を見直す必要がある。私の質問で市長はこの間「安全協定の見直しは完了した時点で再稼働や20年延長について判断していく」と答弁してきた。

答1

市長 首長懇談会で要求していた隣接自治体に所在地と同等の権限を付与することに対する回答は納得できないため、一層の要請行動として原子力安全協定の見直しに関する要求書を提出してきた。安全協定の見直しを行わないまま延長申請をする

新聞報道によると原電は、安全協定の見直しを行わないまま20年延長手続きの申請をしようとしている。再稼働についての市長の考えを伺いたい。

問2

入学援助制度の入学準備金（新入学学用品費）は現在7月支給で必要な時期に間に合わない。文科省は「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるよう十分配慮するよう」市町村に通知している。経済的困難が増す中、入学準備金を2

という情報は受けていない。再稼働は安全協定の見直しと広域避難計画の実効性の確認をした上でないと判断はできないと考えている。

答2

教育長 就学援助制度は保護者の経済的負担軽減を目的としている。できるだけ早い時期に届けることが好ましいので事務手続きを早め、支給時期を7月から5月に早めることを検討する。3月支給については守谷市などの事例を調査研究して行きたい。

3月に前倒しする自治体が増えている。県内では守谷市が新年度から実施している。入学準備金の入学前支給を求めたい。

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 原発問題について
- 市営住宅について
- 介護保険について
- 保育所持機児童解消対策について
- 子どもの体力づくりについて
- 就学援助制度について

総務委員会

総務委員会では、条例の制定1件、一部改正6件、補正予算1件、合計8件の審査を行い、付託された8議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第4号 常陸太田市行政組織条例の一部改正について

問 県内に先駆け納税課を収納課に変更し債権管理一元化を図っていくことだが段階的に行っていく理由について伺いたい。

答 理由としては、1点目はシステムの問題で、システムには収納管理と滞納管理の2つの管理システムがあり、同時に改修することは大変難しいこと。2点目は、債権には種類が多く税と同じように滞納処分ができる債権と滞納処分ができない債権（水道料金など）があることから、段階的に債権管理一元化を図っていくことにした。

議案第15号 平成28年度常陸太田市一般会計補正予算（第6号）について

問 地域振興費の地域おこし協力隊事業を減額した理由について伺いたい。

答 地域おこし協力隊の報償費は、

本年度予算額として10名分、一人当たり年間で192万円になっているが、隊員の活動が実際には6名で活動したため4名分の差額が生じた。また、地域おこし協力隊活動の必要な活動費として一人当たり80万円であるが4人分の320万円を減額した。

問 交通対策費の767万6千円を増額した理由について伺いたい。

答 当初予算では、平成27年度10月から平成28年度9月までの運行期間に係る路線バス運行経費に対する補助金を計上した。増額した理由としては、市内公共交通の再編により昨年の10月から運行を予定していた新規路線（市街地循環線）を道の駅ひたちおたのオープンに併せて7月25日から先行運行するための経費及び既存路線（10路線）の経費上昇により、補助金の不足分を補正したためである。



市街地循環バスを運行

【委員会構成】

委員長 高星 勝幸	委員 茅根 猛
副委員長 福地 正文	委員 深谷 秀峰
委員 後藤 守	委員 諏訪 一則

●平成28年度 総務委員会活動報告(概要)●

総務委員会は9回の協議会を開催、所管事務調査のほか活動テーマとした2点の調査・研究を行った。

テーマ1 少子化・人口減少対策に関する取り組みの現況と今後の対応についての調査・研究

少子化・人口減少対策の重要課題として地域公共交通について調査・研究を行った。昨年の10月に公共交通再編後の特徴については以下のとおりである。

- ①市民バス、みどり号を路線バスに統合することで、運行日を大幅に増加
- ②スクールバスを路線バスに統合
- ③昼間の時間帯の経路を、通院・買い物対応中心に変更
- ④路線バス市街地循環線、路線バス観光広域路線（土日祝日運行）を新設
- ⑤金砂郷地区の乗合タクシー運行を拡充
- ⑥受益者負担（同一サービス・同一賃金を基本に設定）

委員会では、公共交通再編に係る地域公共交通網形成計画の段階から協議を行い、また、3月8日には、市議会で、公共交通の活性化につなげようと議員の路線バスを利用した議会への登庁を行った（11ページ参照）。今後も、引き続き地域交通の利用状況などのデータ分析などを行い、今年には、第2次公共交通再編を予定しているため、引き続き調査・研究を行っていく。

テーマ2 地域防災についての調査・研究

○水害における広域避難について

当市は、久慈川、里川、山田川の河川のほか中小河川が多く、上流の降水量の影響を受けやすく、河川に囲まれている区域での広域避難ができるかどうか調査研究を行った。市では、大規模広域災害時に円滑な広域避難が可能となるよう、県内の市町村との災害時の応援協定を締結しているが、大規模な災害が発生した場合、行政の対応のみでは被災者の救助は限界がある。委員会では以下の意見を集約した。

①地域の実情を最も適切に把握している地域の自主防災会が大きな役割を果たす。

②災害があった場合に、自主防災会である町会長へいち早く適切な情報が必要。

○防災無線の屋外スピーカーについて

気象状況や地形等の影響により聞き取りにくい場合があるため、市内の防災無線の屋外スピーカーの設置状況について調査研究をした。

【所管事務調査】 山口県宇部市（シティセールス事業について） 山口県下関市（空き家対策事業について）

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正1件、指定管理者の指定1件、補正予算2件、請願1件、合計5件の審査を行い、付託された4議案を全会一致で原案可決すべきものと決定。請願1件を不採択とすべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第17号 平成28年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

問 居宅介護サービス給付費の増額理由について伺いたい。

答 要介護認定を受けた方は、一人で複数のサービスを受けることができ、訪問介護（ホームヘルプ）と通所介護（デイサービス）において、それぞれ利用者数が増加し、サービスの給付が年間で1461件増加しているためである。当初予算では年間2万7459件、月平均2288件を見込んでいたが、実績見込みで年間2万8920件、月平均2410件が見込まれ、4300万円の増額補正をするものである。



平成28年請願第5号「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願

意見 特例措置の制度創設時と比べ、高齢者の生活実態が良くなっているわけではないので、現行どおり特例措置を行う必要があり、採択すべきである。

意見 高齢者の割合が増加する中、今後の医療保険制度を考慮すると不採択とすべきである。

意見 急速な高齢者医療費の増加の中、高齢者にも制度の担い手として、広く薄く保険料負担を求めるといふ制度の趣旨を踏まえれば軽減特例を継続することは適当とは言えない。

現在、後期高齢者の給付費の約9割が公費及び現役世代から負担され、後期高齢者の保険料水準は現役世代より低額で、特例によりさらに保険料が軽減されており、負担の公平性の観点からも見直しをしていく必要がある。また、現役世代の一人当たりの支援金が制度創設時から今年度までで約16倍になっており、持続可能な医療保険制度を維持するためには、対策が必要であり、不採択とすべきである。

【委員会構成】

委員長 深谷 渉
副委員長 藤田 謙二
委員 宇野 隆子
委員 高木 将
委員 川又 照雄
委員 益子 慎哉

●平成28年度 文教民生委員会活動報告(概要)●

文教民生委員会は13回の協議会を開催、所管事務調査のほか活動テーマとした3点の調査・研究を行った。

テーマ1 地域コミュニティに関する調査・研究

兵庫県丹波市において、空き家対策の取り組みについて調査を実施した。丹波市の特徴的な取り組みは以下のとおりである。

- ①移住定住施策と空き家対策の担当部署の一本化
- ②定住促進、空き家の活用について取り組む、官民協働による「ふるさと丹波市定住促進会議」の設置
- ③ワンストップ相談業務への専属の地域おこし協力隊の配置

【所管事務調査】兵庫県丹波市（定住促進対策・空き家対策の取り組みについて）

テーマ2 高齢者福祉に関する調査・研究

「市国民健康保険データヘルス計画」の調査及び特定健診発祥の地と言われている兵庫県尼崎市において、生活習慣病対策を市の最重要課題と位置づけ、多角的に取り組んでいる状況を調査した。

調査・研究を通し、特定健診の受診率向上や医療費適正化に向けて今後必要な取り組みとして、委員会で以下4点の意見を集約した。

- ①尼崎市ではコンビニエンスストアと連携した出前健診が実施されている。身近な場所で、健診を受けられる

機会をできるだけ多く設けることが必要。

- ②受診率が低い40代の受診率向上のために40代のみターゲットを当てるのではなく、発想を転換し、視点を少し変えたかたちで啓発を進め、意識を変えるきっかけづくりとすることも一つの方策。
- ③当市で作成した高血圧症予防・改善のためのDVDを団体の会議等の際に流すことで、広く市民に効果的に高血圧症に対する関心と理解を促すことができる。
- ④ジェネリック医薬品については、今後市民に対して、引き続き利用啓発を行うとともに、市外の病院にかかる際にも、市内の院外薬局を利用するよう、啓発していくことが必要。

【所管事務調査】兵庫県尼崎市（ヘルスアップ尼崎戦略事業について）

テーマ3 学校教育・社会教育に関する調査・研究

市学校施設検討協議会の意見書と、意見書を踏まえ平成28年7月に策定された「市学校施設整備計画」について調査を行った。また、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入し、地域との連携・協働による学校運営に取り組む兵庫県宍粟市の視察等を行った。

【所管事務調査】兵庫県宍粟市（コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について）

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の一部改正2件、指定管理者の指定1件、市道の認定1件、補正予算4件、合計8件の審査を行い、付託された8議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第8号 常陸太田市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
問 市営住宅の空室状況と条例改正による市営住宅入居要件の緩和による市内外へのPR方法について伺いたい。

答 市営住宅の使用状況は、管理戸数が600戸、そのうち入居戸数が514戸となっている。条例改正によるPR・周知は、市広報紙やお知らせ版、市ホームページに定期的に掲載していく。



市営住宅の管理戸数は600戸

議案第13号 常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について
問 里美カントリー牧場、里美温泉保養センター、総合交流ターミナル

の利用状況・実績等を伺いたい。

答 里美カントリー牧場は、宿泊施設等のプラトリーさとみと小里牧場が含まれ、プラトリーさとみの平成27年度の利用者数の実績は、5664人で、収支は1439万8434円の赤字である。また、小里牧場は、牛の頭数208頭で、収支は1017万6千円の赤字。また、平成27年度の里美温泉保養センターは利用者数4万7075人で、収支は256万4935円の赤字。里美総合交流ターミナル（里美ふれあい館）は利用者数2931人、収支は281万6521円の赤字となっている。

議案第20号 平成28年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算（第1号）について

問 合併処理浄化槽を設置しなければならぬ区域で、未整備基数は何基あるのか。また、合併処理浄化槽の設置には排水路が必要だが、排水路までの距離が遠い場合には、工事費の負担はどのようになるのか伺いたい。

答 合併処理浄化槽未整備基数は2367基であり、管の埋設工事費の負担は30mまでは市の負担で、それ以上の部分は個人負担になる。

【委員会構成】

委員長 木村 郁郎
 副委員長 菊池 伸也
 委員 成井小太郎
 委員 黒沢 義久
 委員 平山 晶邦

●平成28年度 産業建設委員会活動報告(概要)●

産業建設委員会は6回の協議会を開催、所管事務調査のほか活動テーマとした2点の調査・研究を行った。

テーマ1 地域の特性を活かした地場産業の振興についての調査・研究

○水府地区振興施設の現状と課題

各地区において、地域産業の活性化をめざし、その地域性を活かした「観光等の中核的施設」が設置されている。平成28年度は、水府地区の代表的な産業振興施設の現状と課題について調査・研究を行った。

①水府竜神観光施設（水府物産センター・竜神大吊橋・バンジージャンプ）②水府ふるさとセンター（竜ちゃん乃湯）③水府竜神ふるさと村（キャンプ場）④水府観光物産館（そばハウス龍亭）⑤水府竜の里公園（オートキャンプ場）

この水府地区を代表する施設は、市の指定管理施設になっており、受託団体は株式会社水府振興公社である。個々の施設において今年の1月に現地視察を行い、各施設の現状と課題について、株式会社水府振興公社、市、本委員会で協議を行い、課題の抽出と改善対策及び今後の見通しについて、さまざまな角度から意見を出し合った。

【所管事務調査】北海道美瑛市（農業振興基金について）・千歳市（道の駅サーモンパーク千歳の取り組みについて）

テーマ2 地域産業の振興を目指したまちづくりについての調査・研究

○常陸太田市東部土地区画整理について

市役所本庁北側の国道349号バイパス沿線地区（東部地区）は、商業業務系の市街地を囲む地区と位置付け、買い物環境の向上や雇用創出と合わせ若者世代の定住を図ることにより、本市の最大の課題である「少子化・人口減少問題」を克服し、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めていく上で、欠かせない施策である。

①計画する事業：常陸太田市東部土地区画整理事業

②事業目的：市都市計画マスタープラン等の位置づけを踏まえ組合施行による土地区画整理事業により、商業・業務用地の整備を行う。

③施行予定年度：平成30年度

④今後の展開：事業設立準備会や地権者の理解のもとに事業協力者の募集・選定を実施すると同時に、農地法及び都市計画法の変更手続きを進めていく。

【所管事務調査】北海道滝川市（国際交流の推進について）

議会運営委員会

1/10、1/20、2/20、3/2、3/15

第2回定例会の会期・日程等について

1月20日、第2回定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおおたお知らせ版」及び市内施設・各支所窓口へ掲示することとした。2月20日には第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について。3月2日は一般質問通告者について。15日には追加議案、最終日の日程、議員提案等について協議を行った。

委員長	藤田 謙二	委員	茅根 猛
副委員長	菊池 伸也	委員	高星 勝幸
委員	高木 将	委員	深谷 涉
委員	福地 正文	委員	木村 郁郎

1月10日	議会運営委員会
12日	広報委員会
20日	議会運営委員会・全員協議会・産業建設委員会・広報委員会・総務委員会協議会・産業建設委員会協議会
23日	水戸の梅大使表敬訪問
26日	文教民生委員会協議会
2月14日	総務委員会協議会・議会改革推進会議
20日	議会運営委員会
21日	第1回市議会臨時会・平成29年度予算内示説明会・全員協議会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会
3月2日	本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会
6日	本会議（一般質問）
7日	本会議（一般質問）
8日	本会議（議案質疑）・文教民生委員会協議会
9日	総務委員会・総務委員会協議会
10日	文教民生委員会・文教民生委員会協議会
13日	産業建設委員会・産業建設委員会協議会
14日	予算特別委員会
15日	予算特別委員会・議会運営委員会・全員協議会
17日	本会議（採択・閉会）
22日	議会改革推進会議

議会日誌

第2回定例会で議員提案された下記の意見書を可決し、関係大臣等へ提出しました。

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成29年3月17日

常陸太田市議会

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

人事紹介

3月に茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙が行われ、川又照雄議員が当選しました。

請願・陳情

件名	提出者	結果
平成28年請願第5号 「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願	水戸市白梅4-1-30 信和総業ビル2A 茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行 【紹介議員】宇野 隆子	不採択
「常陸太田市立小中学校通学費補助金交付要綱」の改正等に関する陳情	常陸太田市瑞龍町831-3 常陸太田市立誉田小学校PTA 会長 深津 直哉 外13名	報告

議員提案

件名	提出者	結果
議員提案第1号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	提出者 藤田 謙二 賛成者 菊池 伸也、高木 将、福地 正文、茅根 猛、 高星 勝幸、深谷 涉、木村 郁郎	原案可決

平成29年度

議会報告・意見交換会を開催します

今年度は「少子化問題」について意見交換会を行います。



平成28年度 議会報告・意見交換会の様子

地 区	会 場	開 催 日 時
水 府 地 区	水府総合センター 研修室	7月 6日 (木)
金 砂 郷 地 区	交流センターふじ 会議室	7月 7日 (金)
常陸太田地区	生涯学習センター 講座室 1、2	7月 11日 (火)
里 美 地 区	里美文化センター 大集会室	7月 12日 (水)

午後7時から

- 内容は、議会の運営・活動の報告、質疑応答、意見交換です。
 ○日時、場所等のご都合のよい会場へお越しください。
 ○申し込みは不要です。どうぞ、お誘いあわせのうえご参加ください。



発行責任者 益子 慎哉
 議長 成井小太郎
 広報委員会 副委員長 福田 正文
 委員長 高星 勝幸
 委員 菊池 伸也
 〃 〃 〃 〃 〃 〃
 〃 〃 〃 〃 〃 〃
 藤田 謙二 木村 郁郎 深谷 渉

議会だより第148号では2月に行われた第1回臨時会並びに3月に行われた第2回定例会の主な内容を掲載いたしました。
 議会だよりをとおして議会の内容を分かりやすくお伝えし、議会に対する理解と関心を深めていただくため、編集委員一同努力してまいりますので、なお一層のご支援をお願いいたします。

編集後記

常陸太田市選挙管理委員
及び補充員の選挙結果

平成29年3月31日をもって任期が満了となることに伴い、本会議（3月17日）において選挙が行われ、次のとおり当選人が決定しました。

●市選挙管理委員

大谷 利行 氏
 渡邊 宣 氏
 佐川憲一郎 氏
 我妻 悦子 氏

●補充員

白石 公一 氏
 岩間 昭 氏
 川上 明文 氏
 豊田 洋子 氏

議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。
 今後の本紙編集の参考とさせていただきます。

議会事務局 電話 0294 (72) 3111 E-mail gikaijimu2@city.hitachiota.lg.jp

議会事務局
メールアドレス

